

平成25年度第12回宮城大学食産業学部 教授会（定例）議事録

開催場所	管理棟 大会議室	開催日時	平成26年2月12日（水）13：30～15：20
出席者	<p>48名／定数52名 (ファームビジネス学科) 中村(正)教授、本藏教授、小黒教授、齋藤(満)教授、大竹教授、小林教授、井上教授、森本教授、岩井准教授、中村(聡)准教授、須田准教授、菊地准教授、紺屋講師、斉藤(秀)助教 (フードビジネス学科) 大久教授、津志田教授、石田教授、川村教授、西川教授、三石教授、鶴岡教授、下山田教授、堀田准教授、都准教授、老川准教授、白川准教授、森田准教授、畑中准教授、菰田准教授、金内准教授、石川准教授、河西准教授、谷口助教、君塚助教、木下助教 (環境システム学科) 佐藤教授、上島教授、森山教授、富樫教授、岩堀教授、原田(茂)准教授、笠原准教授、原田(鉦)准教授、神宮字准教授、千葉准教授、伊吹講師、高橋助教、柳澤助教</p> <p>[欠席] ファーム；木村教授、川島准教授 環境；加藤教授、北辻教授</p>		
	(事務局) 蜂谷副参事、後藤課長補佐、高野主事、菅野主事		
	議 事 内 容		
審議事項	<p>議事録署名人に学部長、(環境) 神宮字准教授を指名した。</p> <p>(1) 第11回食産業学部教授会議事録の確認について 第11回食産業学部教授会議事録については、原案のとおり承認された。</p> <p>(2) コミュニティプランナー開講科目について 副学長から資料1に基づき、「コミュニティ・プランナー育成のための実践的教育課程の構築」に係る平成26年度開講科目について説明された。食産業学部では「食産業特別講義(CP概論)」及び「食産業特別講義(CP基礎演習)」の2科目を開講する予定であり、それぞれ専門教育科目として卒業要件単位に算入されることが説明され、原案のとおり承認された。</p>		
報告事項	<p>(1) 将来構想の検討状況について 将来構想検討委員から資料2に基づき、将来構想の検討状況について報告された。食産業学部を「食産業学群」とし、「食ビジネス開発」及び「食資源開発」の2つの学系設置や人材養成(育成)目標、人材育成方針等について検討していることが説明された。</p> <p>(2) 全学委員会報告</p> <p>●教員評価専門委員会 教員評価専門委員長から資料7に基づき、教員評価についてのスケジュールが説明され、2月中に教員データベースを最新の状態に更新するよう各教員に依頼がなされた。</p> <p>●研究委員会 下山田委員から資料10に基づき、一般研究費の配分手法の見直しについて説明された。これまでは職階に応じて定額の一般研究費の配分を行ってきたが、今後は教員評価をもとに配分することを検討していることが報告された。なお、次年度の一般研究費の配分つい</p>		

ては、職階に応じた定額の配分と教員評価に応じた傾斜配分を併せて行うことが説明され、新しい配分手法を段階的に導入する予定であることが報告された。

●総合情報センター運営委員会

森本委員から資料 12 に基づき、Windows XP のサポート終了における本学の対応について、当該 OS を搭載した PC 等の機器は、ネットワークに接続しないことを前提に使用を認める方針であることが報告された。また、定年退職する教員のメールアドレスについて、退職後 6 か月間は該当する教員のメールアドレス宛てのメールを希望するアドレスに転送できることが報告され、メール転送を希望する教員は 2 月中に申請するように説明された。

(3) 学部委員会報告

●教務委員会

森田委員より、編入学生の履修登録上限について説明された。現在、食産業学部履修規程第 6 条 2 項において「編入学生については、3 年次前期及び後期は 29 単位の履修登録単位数の上限を課するが、4 年次前期及び後期については上限を課さない」と定めているが、大学基準協会から編入学生についても在学生と同様の上限を設けるよう指導があったことを受け、履修規程の改訂を検討していることが報告された。

●キャリア開発部会

部会長から、資料 15 に基づき学部 4 年生及び研究科(修士課程)2 年生の就職内定状況(平成 26 年 2 月 4 日現在) について、学部及び研究科ともに就職内定率 100%を達成したことが報告された。

●地域連携委員会

原田茂樹委員から資料 17 に基づき、平成 26 年 4 月 23 日に当キャンパスで開催する「地域連携シンポジウム」についての概要が説明された。

●広報委員会

広報委員長から資料 18 に基づき、食産業学部関係のウェブサイトの状況等について説明された。平成 25 年度 12 月から 1 月にかけて、ウェブサイトの更新に力を入れたことにより、ウェブサイトのページビューが大幅に伸びたことが報告された。今後もウェブサイトの記事の充実を図るため、授業紹介等の記事を提供するよう各教員に協力依頼がなされた。

●予算施設委員会

学部長より資料 19 に基づき、教育用機器の共同利用及び学生の実験室使用について内規を整備していることが報告された。

(1) 教職員の服務等について

事務部から、職務専念義務、事務決裁規程及び公用車使用に当たっての基本的な留意事項について説明された。

(2) 入試委員長から、平成 26 年度一般選抜試験の出願が締め切られ、食産業学部の全学科で出願倍率が 4 倍を超えたことが報告された。

その他

議事録署名人

齋藤 満保 印

神宮字 寛 印